学校番号	3002

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校　新公共（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生きている社会には、様々な課題があります。「公共」では、私たちが生きている社会の課題について、自分で考えていくことができるようになることをめざして、基礎的な力を身につけられるようにしていきます。
そのためには、まずは「なぜ」という疑問を持ちながら、学習に取り組んでいきましょう。また、私たちの生活と学習している内容との「つながり」も意識していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、自らの思考形成に必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
【思考力、判断力、表現力等】
現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，自らの思考形成に必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択･判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的･多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり、発表ができる。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	公共的な空間をつくる私たち	1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 伝統文化とのかかわり ※宗教とのかかわり 5 自立した主体をめざして	a: 人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 b: 公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考え自分の意見をもつことができている。 c:公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	課題
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 ●実社会の事例から考える～環境保護 ●実社会の事例から考える～生命倫理 ※人間と社会のあり方生き方について、先哲はどう考えたか	a: 選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b:倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。 c:公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考　に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	課題

	公共的な空間における基本的原理	1 人間の尊厳と平等、個人の尊重 ※「考える」とは何か ※民主政治と人権保障のあゆみ 2 民主主義と法の支配 ※政治体制と民主主義 3 自由・権利と責任・義務 ※「自由」とは何か 4 日本国憲法に生きる基本的原理	a: 人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b:幸福，正義，公正などに着目して考え、現代社会の制度の課題を捉え、その解決のために考えを表明することができている。 c: 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら,現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	課題
	法的な主体となる私たち	Ⅰ：法や規範の意義と役割 1 私たちと法 2 法と基本的人権 3 自由に生きる権利と法・規範 4 平等に生きる権利と法・規範 5 安全で豊かに生きる権利と法・規範 6 法をよりよいものにするための権利 Ⅱ:契約と消費者の権利・責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任 Ⅲ：司法参加の意義 1 裁判所と司法 2 国民の司法参加	a:法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:法をよりよく変えていくために，自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 C:法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	課題
2	政治的な主体となる私たち	Ⅳ:政治参加と公正な世論の形成 1 私たちと選挙 2 選挙の現状と課題 3 世論の形成と政治参加 4 国会と立法 5 内閣と行政 6 地方自治と住民福祉 Ⅴ:国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	a: 選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ，選挙の意義や，政治的無関心の危険性などについて理解している。 b: 選挙のしくみ，政党の役割，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，考察，構想し，表現している。 c: 政治参加と公正な世論形成について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a:国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解して	定期考査	定期考査	課題

			いる。 b:国際法の意義と役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:国際社会と国家主権について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
		Ⅵ：日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 日本の安全保障体制の変容 3 核兵器の廃絶と国際平和 Ⅶ：国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a:日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え，軍縮の意義や効果について，さまざまな観点から考察している。 c:日本の安全保障と防衛について，国連憲章や日米安全保障条約の下，現代の諸課題の解決に向けて，主体的に取り組もうとしている。 a:国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:持続可能な開発(SDGs)にふれながら，国際社会の安定について，国民，国家，国際レベルで何ができるかを，さまざまな観点から考察し，論拠をもって表現している。 c:国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	課題
3	経済的な主体となる私たち	Ⅰ：雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者と権利 3 労働環境と課題 Ⅱ：社会の変化と職業観 1 日本経済のこれまでとこれから 2 技術革新の進展 3 現代の企業 4 中小企業の現状と役割	a:企業・家計・政府の三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちは，どのように経済活動に参加しているのか，理解している。 b:雇用と労働問題について，日本的雇用慣行の崩れなど，現代の諸課題を主体的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 c:雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の	定期考査	定期考査	課題

		5 日本の農林水産業 Ⅲ：市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 国民所得と私たちの生活 5 経済成長と国民の福祉	将来のあり方について考えようとしている。 a:経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。 b:市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 c:市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
		Ⅳ：金融のはたらき 1 金融の意義と役割 2 金融のいま Ⅴ:財政の役割と社会保障 1 財政のしくみと租税 2 日本の財政の課題 3 社会保障と国民福祉 4 これからの社会保障 Ⅵ:経済のグローバル化 1 国際分業と貿易 2 国際収支と国際経済体制 3 外国為替相場の動き 4 グローバル化する経済 5 地域的経済統合 6 国際社会における貧困や格差 7 地球環境問題 8 資源･エネルギー問題 9 国際社会のこれから	a:金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:金融のはたらきについて考え,自分自身の将来の資産形成を主体的に考えようとしている。 a:財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:社会保障の意義を理解し，現在の社会保障の課題について考察している。 c:財政の役割と社会保障について現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度